

安倍9条改憲ノー

3000万署名を成功させよう

市民と野党が集会

「安倍9条改憲NO!全国市民アクション」と総がかり行動実行委員会は1月7日、東京都内で「戦争止めよう!安倍9条改憲NO!新春の集い」を開催しました(右写真)。会場は1300人を超える参加者の熱気にあふれ、3000万署名を必ず達成し、安倍政権がねらう改憲発議を阻止する決意を固めあいました。



—— 野党各党のあいさつ紹介 ——

9条改憲阻止は 市民と野党の歴史的使命 —日本共産党・小池晃書記局長



安倍首相が憲法9条に書き込もうとしているのは、安保法制のもとで地球の裏側まで行って集団的自衛権を行使する自衛

隊で、何の制約もなく「海外で戦争する国」になってしまう。安倍首相は、改憲は自民党の歴史的使命だといいました。ならば、それを阻止するのが市民と野党の歴史的使命だ。9条改憲の発議を許さない一点で力をあわせる1年にしたい。

野党共闘は大切。 9条に自衛隊明記は反対だ —立憲民主党・福山哲郎幹事長



市民のみなさんと野党共闘という力があつたからこそ、今、われわれはこの場にたたせていただいている。安保法制を追認するような9条3項の自衛隊明記は反対だ。

安倍改憲に断固反対 みなさまと力あわせる —自由党・青木愛参院議員



立憲主義を否定する安倍首相のもとでの憲法改正は全く認めることができず、断固反対の立場でみなさまと力をあわせていく。

「9条改憲ノー」の署名にご協力を

市民と野党が共同して、安倍9条改憲を止める署名運動の成功を誓い合ったことは重要です。9条を変え、「戦争する国」をしよとたくらむ安倍政権は絶対に許せません。ぜひ署名にご協力ください。



参議院議員(東京選挙区選出)

きらよしこ

吉良よし子

日本共産党



ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年1月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可